

「言葉」

(株)播磨設計コンサルタント 代表取締役 藤本 睦之



住 所: 加古川市野口町良野1580番地
T E L: 079-423-5155
営業内容: 補償業務、土木設計、不動産登記、
測量全般

りますが、伝え方の大きな部分は言葉であり、それが文章になり多くの人に伝わっていくこと、そしてその伝えたいことが自分だけでなく他人が幸せになることを願う気持ちを伝えるという行為により、本来あるべき正しい人の輪ができるのだろうと。

5年ほど前に弊社が所属する協会団体の次世代経営者部会に参加させていただきました。経営の大先輩から今までのご経験を拝聴する機会がありました。そのお話の中で参加者への質問として、経営の資源とは何か？の問い、更に「ヒト・モノ・カネ」以外で、もう一つ大切なことは？

答えは「運」でした。

その時に感じた正直な気持ちは「えー、それですか・・・」でした。

しかし、その後の会社経営の中で実践をもつて感じたことは、どうしようもない巡りあわせを臆することなく、自らの信念で前に進むこと、運さえも掴む勇気がリーダーには必要であるこ

とを先輩は伝えたかったのであろうと私は理解しています。

10年少し前にスマートフォンが普及し、情報伝達量が当時と比べ530倍になったとことです。今や5G、2030年には6Gの世界と言われていきます。できなかったことが出来るようになり、より便利で早い情報のやり取りが普及しても、人が人に伝え大切にしてきたもの、人との巡り合わせの大切さをさらに重要視していくことが大切であると最近特に痛感しております。そして伝えていく言葉は決して自分の都合ではなく他人の幸せを言葉に織り込むことが大切であると、先達のありがたい言葉を忘れることなくこれからも精進してまいります。

冒頭の草枕の一説ですが、その続きが「〜故に尊い。」と続きます。ぜひ機会があればご一読ください。

最後に、釣りに行くたびに新しい魅力があり最近ハマっています。次はいつ行けるかな。

夏目漱石『草枕』の冒頭で、「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。〜」とあり、久しぶりに触れる機会がありました。その通り、なるほどと思うのですが初めて目にした時と今とでは、気持ちの度合いも角度も違っていている自分に気が付きました。目は口ほどに物を言うとは